

# 紙飛行機通信

## 香川大学教職大学院ニューズレター 31

### 令和8年度 教職実践研究交流会が行われました

8月1日、教職実践研究交流会が開催されました。11年目になる今年も多くの修了生が参加し、現院生による中間発表や教職大学院修了生の表彰、各コースに分かれての交流会が行われました。また、全体会の後には、今年度本学に着任された中村光則准教授による「見方・考え方を働かせる探究学習—国際バカロレア認定校（広島県立広島叡智学園中学校・高等学校）の取組—」と題した講演が行われました。現場での実践に基づく貴重なお話に、参加者は多くの示唆を得る機会となりました。



### 参加者からの声

バカロレアに関する取り組みについて初めて知ることも多く勉強になりました。

探究の具体をもっと知りたいと思いました。

### 今年度の優秀教員の表彰

令和2年度修了生 滝澤 健先生  
教職大学院での学びを基盤に、修了後も実践と研究を重ねながら教育の質の向上に取り組まれています。「学び続ける教員」の姿を体現し、教育現場の発展に貢献されています。

### 全体会での講演

### 教職大学院入試のお知らせ

B日程 令和8年11月28日(土)  
出願期間 令和8年10月22日(木)  
~30日(金)  
C日程 令和9年1月23日(土)  
出願期間 令和9年1月4日(月)  
~8日(金)

### 教職大学院説明会のお知らせ

第3回 令和8年12月23日(水)  
16:30~18:00開催

教職大学院にご興味のある方(入試を考えておられる方)を対象に対面とオンライン(Zoom)併用による教職大学院説明会を上記の日程で行います。実際の大学院での学び、院生の様子、入試など、本学教職大学院にご興味のある方に向けた話をいたします。ご質問やご相談にお応えする時間も設けます。ご都合のつく折に、ぜひご参加ください。



参加フォーム  
はこちら  
クリックも可



### 先生たちの「当たり前」の実践は、何に支えられているのか？

現在、高校進学率は98.6%に達し、高校教育は「準義務教育化」（香川ら2014）したともいわれています。多くの生徒が高校に進学する一方で、高校教育では、義務教育とは異なり、基本的に生徒に一定の「適格性」が求められます。では、学校が求める「適格性」を満たすことが難しい生徒の教育機会とは、どのように支えられているのでしょうか。

私はこれまで、この問いを、教師や教師以外の専門職による日々の判断や対応から考えてきました。学校現場で働く先生方にとって、その多くは、あえて意識するまでもない「当たり前」の実践かもしれません。しかし、その「当たり前」を言葉にしてみることで、生徒の教育機会がどのように支えられているのかが見えてきます。また現在は、そうした実践を可能にする「学校組織」にも目を向け、教師の異動や定着、学校における経験や知識の蓄積・継承について研究しています。

講義では、「どのように対応すべきか」という一つの答えを示すことよりも、先生方が日々行っている実践を捉え直すことを大切にします。教育社会学は、目の前の出来事を個々の生徒や教師だけの問題とせず、その背景にある学校や社会との関係から考える際の一つの手がかりになります。具体的な事例を用いたグループワークを通して、先生方の「当たり前」の実践は何に支えられているのか、そして、その実践を可能にする学校組織とはどのようなものかを、一緒に考えていきたいと思っています。

香川めい・児玉英靖・相澤真一、2014、『＜高卒当然社会＞の戦後史』新曜社。

#### 「探究実習での学び」

学校力開発コース 宮地紘子

探究実習を通して、学校や教育行政など、さまざまな立場から子どもを支える取組について学びました。教育委員会訪問では、行政が学校を支える仕組みや役割を知り、学校現場とは異なる視点に触れることができました。また、附属学校では、子どもの成長を第一に考え、使命感をもって研究や実践に取り組む先生方の姿勢が印象に残りました。今後は、一つの見方にとらわれず、多様な視点から子どもを理解し、関係者と連携しながら、学びを一人一人に寄り添った支援の実践につなげていきたいです。

#### 「探究実習で感じた教師の役割とは」

授業力開発コース 増田加奈

附属小学校での探究実習を通して、教師の役割は少しずつ変化してきていると感じました。子どもたちはよりよい学び方を自ら見つけ出し、主体的に学習へ向かう態度を育てていました。「教えること」とは、教師が単に方法を示すことではなく、子ども自身が気づき、考え、一人でもできるようにすることであることを改めて学びました。発問や言葉かけを、より子どもたちの自律性支援を重視したものへと転換していきたいと思いました。

#### 「探究実習での学びと多職種連携」

特別支援力開発コース 野口かなえ

探究実習では、医学部小児科やアシスト教室、放課後デイサービス、リハビリセンター、附属特別支援学校などで実習を行いました。学校の枠を超えた学びを通して、医療をはじめとする生活全体から子どもを捉えるアプローチや地域の多様な支援体制を学び、多職種連携の重要性を実感しました。また、将来の自立を見据え、子どもの成功体験や自己決定を引き出す意図的な手立てや丁寧な環境調整に触れ、自身の指導や支援のあり方を見つめ直す貴重な機会となりました。医療や福祉、特別支援教育の現場に触れて広がった視点を、今後の学校実践に還元していきたいと思っています。

#### 探究実習での学び

探究実習は、附属学校園、医療・療育機関等での実習、教育委員会への訪問、自ら選択した研究授業・研修会への参加を通して、教育課題の解決に向けた実践研究に取り組む実習です。理論と実践を往還しながら専門性を高めます。

探究実習って何？

